

第三中学校・第十中学校統合委員会標準服検討部会 要 点 記 録

第 2 回

開 催 日 時	平成 28 年 11 月 21 日(月) 午後 6 時 30 分～8 時 25 分	
開 催 場 所	第三中学校 芹澤文庫（資料室）	
出席者	委 員	荻野嘉彦、河野千枝、西林美幸、植田恵美子、杉浦千智、 前澤芳子、齊藤久、弓田豊、三保谷浩貴、辻成一郎、 板垣淑子 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
会 議 次 第	【議事】 1 標準服のコンセプトについて 2 事業者の選定方法について 3 その他	

第 2 回 第三中学校・第十中学校統合委員会標準服検討部会 会 議 要 旨

1 開会

部会長

それでは、第2回の第三中学校・第十中学校統合委員会標準服検討部会を開会する。
本日は、傍聴希望者はいない。

2 議事

議事(1)標準服のコンセプトについて

部会長

それでは、議事に入る。
標準服のコンセプトについて、事務局から説明をお願いします。

■資料「第三中学校・第十中学校統合新校 標準服アンケート調査結果」について説明

コンセプトを検討するにあたっての参考とするために、第三中学校と第十中学校の1年生生徒と保護者にアンケートを実施し、その結果がまとまった。

【生徒】 回答数 第三中：45名 第十中：54名

男子は、第三中学校は詰襟が多く、第十中学校はブレザーが多い。女子はセーラーとブレザーが、ほぼ同数になっている。

意見・要望等として、男子は「私服が良い」、「ブレザーの方が楽で良い」、「詰襟の方がカッコいい」等の意見が出ている。女子は「スラックスがあると良い」、「夏はセーラーで冬はブレザーが良い」、「女子もリボンではなくてネクタイが良い」等の意見が出ている。

【保護者】 回答数 第三中：34名 第十中：40名

男子は、第三中学校が若干詰襟の方が多いが、第十中学校はブレザーの方が多。また、女子については、若干セーラーの方が両校とも多いという結果になっている。

意見・要望等については、形式・価格・その他に分けて聞いているが、形式については「夏はポロシャツが良い」、「着心地の良いものにして欲しい」、「流行や派手さではなく正統な標準服を望む」等の意見が出ている。

価格については、「なるべく安くして欲しい」という意見が5件あった。その他、「長く使えて安価なものにして欲しい」、「耐久性も必要なので、適正な価格にして欲しい」などの意見が出ている。具体的な金額として「体育着等の一式揃えて10万円以内にして欲しい」などの意見もあった。

その他の意見として、「洗濯しやすく、乾きやすく、しわになりにくい」など手入れのしやすいものにして欲しいという意見が多く出ている。

■資料「区内中学校・標準服の形式と販売価格」について説明

区内の中学校の標準服の形式と販売価格について各中学校に調査した。形式によって金額が違い、冬服上下と夏服のスラックス、スカートについては指定している学校が大半であった。

■資料「標準服のコンセプトについて（検討資料）」について説明

1 基本的コンセプトについて

- ・ 社会の一員としての資質を身につけることも教育の大きなねらいの一つである。社会で通用するような服装感覚、標準服着用に対するマナー、TPOをわかまえることなどを、中学生のうちに身につけることが望ましい。
- ・ 標準服は、学校にとって一つのシンボルであり、生徒が標準服に誇りが持てるようなもの、愛校心が芽生えるようなものとして、清潔感がありかつ機能的で、魅力的なものが望ましい。
- ・ 公立校で定める標準服の検討にあたっては、経済的な面も含め、バランスのとれたものを考える必要がある。

2 形式について

- (1) 男子用はブレザータイプ（または詰襟タイプ）を提案する。
- (2) 女子用はブレザータイプ（またはセーラータイプ）を提案する。
- (3) 女子用については、スカート又はズボンを選択できるようにする。
- (4) 夏服のズボン(男子用・女子用)、スカートは、冬服と共通のデザインとする。

3 その他の仕様について

- (1) 家庭の洗濯機で洗濯ができるなど、手入れの簡易なものとし、できるだけ環境にやさしい素材を使用したものとする。
- (2) 一定程度の体格の向上には簡易な補修等に対応できるようにする。簡易な補修等の方法その他アフターサービスの内容については、提案による。
- (3) 保護者の購入価格が冬服上下(ネクタイやリボンを着用することを提案した場合はこれらの価格も含めて)と夏服(スラックス、スカート)で35,000円(消費税込み)前後とし、どのサイズも統一価格とする。

4 販売等について

保護者が標準服を購入する際、少なくとも、第三中学校・第十中学校の統合新校の通学区の近傍数箇所で購入できるようにする。新入学時及びその他の時期のそれぞれにおける販売方法の考え方を示す。

5 その他

統合新校開校時の2・3年生(概ね250名)については、区が公費で標準服を購入する予定である。その際は、中野区の入札参加資格者(物品)から購入するため、当該参加資格者が取

り扱えることを要する。

※下線部は、前回の資料から修正した箇所

部会長

今後の日程を考えると今回の検討部会でコンセプトを確定しなければならない。事務局の説明を受けて、質問や意見等あるか。

委員

このコンセプトは、保護者や地域などに周知していくものなのか。基本コンセプトに「社会の一員としての資質を身につけることも教育の大きなねらいの一つである」とあるが、主語がわからない。外部に出すようなものだったら、もう少しこういうところを整理した方が良いと思う。

それから、「標準服は、学校にとって一つのシンボルであり、生徒が標準服に誇りが持てるようなもの」とあるが、「標準服は一つのシンボルであり、生徒が誇りを持てるようなもの」というように、もう少し簡潔で明確な表現にした方が良いと思った。

事務局

今後、事業者に標準服を提案してもらうのだが、このコンセプトに基づいて標準服を作成してもらうことになる。事業者に示す仕様書のようなものと理解してもらいたい。

部会長

他に「基本的コンセプトについて」意見はあるか。意見がなければ、事務局は先ほどの意見を踏まえて修正して欲しい。

つづいて2番の形式だが、これが一番大きいと思う。生徒・保護者に実施したアンケート結果では、男子は圧倒的にブレザーを支持している。まずは男子の形式について、どう思うか。

委員

男子はアンケート結果だけで見るとブレザーが多いのだが、第三中学校の生徒と保護者は詰襟の方が多。数だけでは判断できないと思った。

委員

詰襟とブレザーで決定的な違いは何か。

委員

私は中学が詰襟で、高校がブレザーだった。ブレザーだとネクタイのため胸元があくが、詰襟は閉まっている。保護者の意見に「苦しそうに見える」とあるが、そこまで着にくいものではない。生徒の意見で「脱ぎやすいし、カッコいい」とあるが、詰襟の方が丁寧に扱うような気がする。

委員

詰襟の場合、夏服はどのようになるのか。

委員

半袖ワイシャツなどであるが、第十中学校のようにポロシャツでも構わないと思う。

委員

私は中学3年間詰襟だった。一番上のボタンをしなければ、そこまで窮屈ではないが、成長して体が大きくなったのに同じ上着をずっと着ていると窮屈である。そういう意味では、ブレザーの方が開放的な感じはすると思うが、ネクタイをするということは、男子にとっては窮屈なことなので、どちらが窮屈、どちらが楽というのは、一概には言いがたい。

委員

先ほどの詰襟の方が大事に扱うのではないかという意見はわかる気がする。詰襟だと襟がしっかりしているが、ブレザーはそのまま置いた場合、形がくずれるようなイメージがある。

委員

ブレザーも詰襟も校内では着たまま過ごすのか。それとも、上着を脱いで暑さ調節を各自して良いのか。

委員

校内では上着を脱いで暑さ調節している。

委員

寒い時は、セーターやカーディガンを着て良いのか。

委員

寒ければ上着の中にセーターを着ても良いとしている。ただ、だらしなくならないように、袖で指が隠れてはいけないとか、上着から裾が出るようなものは着ないということは指導している。

委員

色は何でも良いのか。

委員

色は紺か黒と指定している。第十中学校の女子は、冬はセーラー服の上に襟なしブレザーを着ているので、セーラー服と上着の間にセーターを着ている子もいる。

委員

第三中学校の女子はセーラー服の上からセーターを着ている。だから、全部セーターが見える。

委員

標準服を検討するにあたり、窮屈さとかを考慮してデザインを考えなければいけないのか。例えば、ブレザーの方が、余裕があると思うので、セーターなどを着ることを考えたらブレザーの方が良いとか、そういう決め方になっていくのか。

部会長

決め方について何か意見はあるか。

委員

詰襟でもブレザーでも、どちらでも良いと私は思っている。ただ、時代に左右されないような標準服が良いと思う。どうしても流行はあると思うが、オーソドックスだが少し華があって、子どもたちが自分の標準服にも誇りが持てるようなものが良い。新しい学校の子どもたちや地域に長年愛されるような標準服であるべきだと思う。

委員

詰襟は昔から変わっていないと思う。

委員

詰襟やセーラー服は昔から変わっていないので、それはそれで良いとは思いますが、子どもたちがそれを受け入れてくれるか、愛してくれるかというのは、また別なので難しいと思った。

委員

アンケート結果の保護者の意見で「新しい学校になったという自覚を持つために、今の三中、十中のデザインとは違うもので。生徒の獲得のためにおしゃれなものにしてほしい」という真逆な意見もあり、いろいろな考えがあるのだなと思った。

委員

第九中学校の場合、多くの男子は詰襟が嫌だという声があったが、統合して中野中学校になるときに絶対に詰襟でないと嫌だという生徒もいた。本当に誇りを持てるような標準服であれば、時代遅れであっても構わないし、流行を追いかけて次々にモデルチェンジしていくのであれば、ブレザーにする意味はないと思う。

委員

男子の標準服は、女子の標準服と一緒に並んだときに似合うようなものを選んではどうか。

部会長

今、女子の形式を先に決めた方が良いという意見が出たがどうか。

委員

アンケート結果を見ると、生徒も保護者も男子はブレザーが圧倒的に多い。女子は、生徒は半々だが、保護者はセーラー服が多い。個人的にも高校になるとブレザーが多いので、中学生はセーラー服を着させてあげたいと思った。

委員

私は中学のとき、かぶるタイプで脇にチャックがあるセーラーだったのだが、すごく着にくかった。第十中はブラウスにセーラーの襟がついているが、前ボタンなので着やすいと思った。

委員

確かにセーラーで、前あきであれば良いと思う。

委員

セーラー服はかぶる物だとずっと思っていたので、前あきがあるというのは驚いた。デザインを考えるとセーラータイプ、詰め襟タイプがかわいいと思った。

部会長

では、女子はセーラータイプでよろしいか。

委員

セーラーでもブレザーでも私はどちらでも良いが、スラックスを女子がはいても良いとしたときに、セーラー服にスラックスは合わないと思う。そういうことも考えておいた方が良いと思う。

委員

女子のセーラーの場合、夏と冬は同じ上着なのか。

委員

夏は、上着はなくてシャツや半袖のセーラーブラウスなどである。

委員

少し金額は高くなってしまいが、夏はセーラーで冬はブレザーにするのはだめなのか。

委員

今、第十中学校はそのような形である。ブレザーは襟が無い形でブラウスはセーラーである。

委員

それだと両方の希望が叶うのではないか。ブレザーといえはブレザーだし、セーラーと言えはセーラー服である。

委員

アンケート結果だが、第十中学校の生徒は今自分たちが着ているものがブレザーなので、そう思ってブレザーを選んでいる生徒がいるかもしれない。

部会長

先ほどセーラー服ではスラックスがミスマッチではないかという意見があったが、どうか。

委員

どれぐらいスラックスがはきたいという意見があるのか、にもよるのではないか。

委員

多様な性へ配慮するためにスラックスを用意するということだと思う。

委員

多様な性への配慮だけではなく、ブラスバンド部の子どもは、大きな楽器だと股を広げて演奏しなければいけないので舞台だと見えてしまうため、スラックスをはきたいという声がある。

部会長

スラックスを希望する生徒に対応するために、業者に女子の上着に合うデザインを考えてもらうということでもよろしいか。

— 異議なし —

部会長

では、女子の形式は現在の第十中学校のようなセーラータイプを提案してもらうということでもよろしいか。

委員

少人数かもしれないが、女子はスラックスをはいても良いとした場合、セーラー服タイプにするのであれば丈を長くしたほうが良いのではないか。

委員

事業者が提案する際は、女子のスラックスについてもそういったバランスを考えて提案してくれると思う。

部会長

それでは女子はブレザータイプで襟がセーラーということとしたい。

続いて男子の形式だが、先ほど標準服を着ている女子と男子が合うようなものが良いという意見があったが、どうか。

委員

前回、第十中学校男子の夏服はとても評判がいいという意見があったが、やはり夏は汗もかくし、洗いやすい方が親としてはとてもありがたい。

委員

第十中学校に子どもが通っているが、夏服は洗濯機で洗ったあともアイロンしなくて良いし、襟の黒ずみが全然目立たない。涼しいし、しわにもならないのでとても良い。

委員

男子の夏がポロシャツの場合、女子がセーラーだと男女の統一感が少しなくなり、女子の方がきちんとしているように感じるので、女子の夏もポロシャツが良いのではないか。また、夏服をセーラーに指定すると、女子は金額が高くなってしまう。その辺をどう考えるかだと思う。

委員

第十中学校の男子のポロシャツの色は決まっているのか。

委員

決まっている。

委員

白でないのがおしゃれだと思った。白以外の色にすると、汚れが目立ちにくいのと、女子は透けないので良い。透けないような素材を業者に提案してもらおうとか、白でない色にするのも良いと思ったのだが、清潔感があるのは白である。

部会長

セーラーだと夏は金額的に高いので、女子もポロシャツの方が良いのではないかという意見があったが、どうか。

委員

夏も冬も、オーバーブラウスタイプにすれば着崩すこともないので良いと思った。

委員

ポロシャツだけの方がボタンを開けてしまうという心配もある。セーラー服タイプならば、そういう心配はないと思う。

部会長

ではこのあたりで、男子はブレザータイプか詰襟か、どちらか決めたいと思う。

委員

一番大きな違いは、ネクタイを結ぶ手間だと思う。

委員

第十中学校のネクタイは、はめるだけのワンタッチタイプである。

委員

子どもが手で結ぶとネクタイが汚れてしまう。結び目あたりが汚くなってしまわないと思う。第十中学校のように簡単にはめるだけのタイプは良いと思うし、ネクタイをつけるためにはきちんとワイシャツの襟を閉めないといけない。機能的で実用的なので良いのではないか。

部会長

そのようなタイプだとネクタイを締めるという大変さの課題はクリアされる。他に男子の形式について意見はあるか。

委員

第十中学校はブレザーの方が多い。第三中学校は詰襟の方が多いが、半分近くはブレザーとい

うことなので、アンケートを反映させるならブレザーが良いと思う。

委員

私は詰襟が良いと思ったが、数字を見るとブレザーが多いのでブレザーで良いと思う。

委員

正直、詰襟の方がフォーマルな感じがするが、日常生徒たちが着るものだから、主たる生活の場である学校の中に溶け込むものであれば良いと思う。

委員

今までの伝統とかを考えると、詰襟は捨てがたいと思っていた。第三中学校のアンケート結果も8割ぐらい詰襟という意見だと思っていたのだが、意外とブレザーが多いので驚いた。先ほど詰襟が嫌だと第九中学校の生徒がいたという話もあったが、第三中学校の生徒の中にもそういう声は結構多かったというのを正直感じた。

部会長

それでは、男子はブレザーということでよろしいか。

— 異議なし —

部会長

(4)夏服のズボンについて、意見はあるか。

委員

可能であれば、女子がセーラー服でブレザータイプにするのなら、夏服の下について男子と女子の素材などを同じにして欲しい。

委員

下は、同じにはできないと思う。女子はどうしても柄が入るだろうし、男子は柄が入ると少し軽い感じがする。上は男女で統一感を出せる気はする。

部会長

では、夏服に限らずなるべく男女で統一感が出るようなものにしてもらうことにする。2番の形式について、ほかに追加してほしいという意見はあるか。

— 意見なし —

部会長

それでは、次の「3 その他の仕様」については、前回の意見が反映されているので確認してもらいたい。(3)の価格は、夏服、冬服合わせて3万5,000円前後ということだが、それについてはいかがか。

委員

セーラーブラウスを入れると、3万5,000円では厳しいと思う。シャツを指定していなくても、大体ブレザータイプの男子は冬服のジャケットとズボン、夏ズボンで3万5,000円ぐらい。女子は冬の上着とスカート、夏スカートで4万5,000円ぐらいである。

委員

男子もポロシャツなど諸々のものを入れると10万円近くになると思う。

委員

私は基本的に標準服だけで幾らと考えたことはなくて、学校でそろえるもので大体10万円という考え方をしていたが、標準服の金額をこだわる人はこだわるのか。

委員

先ほどのアンケート結果によると、なるべく安くしてほしいとか、今までと同程度、または今までより安くという保護者の意見があった。現在第三中学校の男子は3万7,800円、女子は4万6,470円で、第十中学校の男子は4万4,900円のため第三中学校よりも高い。第十中学校の女子は4万7,000円なのでほとんど変わらないという状況である。あと、第十中学校の夏のポロシャツは4,100円であるが、どこまで指定にするかということだと思う。

委員

保護者がどこまで負担できるのかということだと思う。区内中学校の金額が資料によると、第二中学校は、かなり安くて2万2,000円ぐらいになっているが、平均すると4万円前後である。この金額も踏まえて考える必要があると思う。

委員

この実態を見ても、3万5,000円というのはかなり難しいと思う。

委員

3万5,000円前後で必ず決めなくても良いと思う。3万5,000円でおさめるには、女子は夏服をポロシャツにしなくてはならなくなってしまう。また、中野区内の中学校の販売価格の表を見ると3万5,000円におさまっている女子の学校は少ないと思うので、確かに安いにこしたことはないが、標準服の機能性とかを重視した上で、少し値段が上がる分には仕方がないと思う。この表の平均が大体4万5,000円前後ぐらいなので、それよりずば抜けて高くなければ、保護者としても不満が出ることはないのではないかなと思う。

部会長

今、4万5,000円前後でも良いという意見が出たが、いかがか。

委員

この金額は前回の中野中学校のものを参考にしたのか。

事務局

中野中学校の標準服のコンセプトは冬服の上下だけで2万5,000円としていた。

部会長

中野中学校は夏用のスカートとズボンがないということだったのだが、どうだったか。

委員

中野中学校は、開校時にベストも夏のスカート・スラックスもなかった。中野中学校の時も2万5,000円という金額でデザインしてもらったのだが、現実、子どもたちが生活していく上で、このままではとても耐えられないという意見が保護者から出されたので、ベストと夏のスカート・スラックスを作った。値段が高くなってしまふのだが、最初の時点でそういう変更にならないように考えていかなければいけないと思う。

委員

統合時の在校生には区から支給されるが、その後入学する子どもは、家庭が負担するというのを踏まえて、今の平均的な値段とするのか。それともそれよりも機能が良くて金額も高くても良いとするのかということだと思う。開校後、ずっと保護者が負担していくことになることも考えた方が良くと思う。

委員

生活する上で替えのブラウスも必要になるため、2枚ずつと考えると第十中学校の女子は大体6万円ぐらいになる。

委員

ワイシャツで指定なしという学校が結構あるが、結局、ワイシャツを2、3枚そろえると思うので、保護者の負担額はあまり変わらないのではないかなと思う。なので、特別高く見えてしまうかもしれないが、結局はそんなに変わらないと思った。

部会長

保護者の負担ということを考えると、安い学校もあるけれども、結果的には一緒ぐらいではないかという意見があったが、コンセプトの値段については4万5,000円ぐらいということによろしいか。

4番、5番についても、この文言でよろしいか。

意見がなければ標準服のコンセプトは、これで終了するが、よろしいか。

— 異議なし —

事務局

コンセプトについて何点か修正意見が出されたので、事務局で修正し、部会長に最終的に確認してもらってから、事業者に提示するというような形にしたいと思うが、よろしいか。

— 異議なし —

議事(2)事業者の選定方法について

部会長

では、次の(2)事業者の選定方法について、事務局から説明をお願いします。

■資料「事業者の選定方法について」事務局から説明

事業者の選定方法は、まずデザイン画等を募集して、それを審査し、次回12月の検討部会で第一次選定を行う。選定された業者に実際に見本品を持ってきてもらいプレゼンテーションを行って、二社に選定する。その後、第三中学校、第十中学校で展示会を開催し、最後一社に絞るといような流れで進めたい。この資料については、事業者の評価に関するものなので非公開とする。

■資料「中野区立第三中学校・第十中学校の統合新校にかかる標準服デザイン等の募集について」事務局から説明

デザイン画を募集するにあたっての要領を作成した。事業者はこの募集要領と標準服のコンセプトを示して、デザイン画等を提案してもらおうと考えている。事業者には、デザイン画とあわせて説明資料として「標準服づくりにあたっての姿勢」、「企画コンセプト」、「アフターサービス体制」、「想定価格」などを提出してもらおう。

12月12日(月)までを募集期限とし、委員には資料を事前送付するので、次回の検討部会までに評価してもらい、その評価をもとに事業者の第一次選定を行いたい。

■資料「デザイン等提案事業者の評価方法について」、「標準服デザイン等提案評価表」について事務局から説明

評価方法について事務局案を作成した。事業者の評価に関するものなので非公開の資料とする。

部会長

事務局から説明があったが、何か質問や意見などはあるか。

委員

プレゼンテーションの中で、スカートにポケットは付けなくてほしいとか、ズボンをもう少し使いやすいように直してほしいとか、実際使っていく上で機能性とかを考えて細かな部分について直して欲しいという意見が出ると思うのだが、直してもらうことは可能なのか。

事務局

事業者との交渉になるかと思うが、ボタンやネクタイなどの細かな部分についてはある程度対応してもらえらると思う。

委員

プレゼンテーションから学校で展示会を開催するまでの間で直してもらうことは可能なのか。

事務局

展示会の日程はまだ決まっていないが、仮に2月下旬に開催するとして、第二次選定から展示会までの1か月間でどこまで対応してもらえるのかは、事業者との交渉によると思う。

委員

修正がどの程度のものなのかにもよると思うので、個別に事業者と交渉する形になるのではないか。

部会長

その他にあるか。なければ事業者の選定方法については、事務局の提案どおり進めるということ

とでよろしいか。
— 異議なし —

議事(3)その他

部会長

では最後にその他だが、次回の日程について事務局から説明をお願いする。

事務局

次回は12月に開催したいと考えている。候補日として、12月20日（火）もしくは21日（水）のどちらかをお願いしたい。

その次の第4回は、プレゼンテーションということで、標準服の見本品を見て評価してもらいたい。会場は、業者の控え室や駐車場を確保する必要があるため、区役所で開催したい。また、プレゼンテーションは、各事業者を比較して採点してもらうので、プレゼンテーション開始後に遅れてきた委員は採点に加わることはできない。そういうことも踏まえて開始時間は6時半からで大丈夫なのかも確認したい。日程は、1月23日（月）もしくは24日（火）で行いたいと考えている。

— 日程調整 —

部会長

次回は12月20日（火）午後6時半から、会場は第十中学校とする。

1月の日程については、本日欠席している委員もいるので、1月23日（月）、24日（火）のうち1人でも多く参加できる日とし、次回決定する。

以上で、本日の標準服検討部会は終了する。